

目 次

【01】 理事長就任挨拶
大阪府国際交流財団 理事長 小高 将根

【02】 事業報告
《平成28年度OFIX事業の取り組み》

- 大阪府災害時多言語支援センター運営訓練
- 平成27年度相談会振り返り会議
- 第23回ワン・ワールド・フェスティバル
- 池田市国際交流センター (IMC) ボランティア研修会

***** 〈地域国際交流協会等・OFIX共催 防災事業〉 *****

- 「外国人のための防災体験バスツアー」
泉大津市、泉大津国際交流協会
- 「大規模災害時における外国人支援セミナー」
豊中市、(公財)とよなか国際交流協会 (ATOMS)
- 「外国人市民と地域社会住民のための防災訓練」
岸和田市国際親善協会

- ★ 外国人留学生対象有給インターンシップ成果報告会
- ★ JICAボランティア大阪府表敬訪問

【03】 災害時の多言語支援事業の現状

- 自治体の災害時多言語支援事業について
特定非営利活動法人多文化共生マネージャー全国協議会
事務局長 時光
- 都市間連携による災害時外国人支援事業への取り組み
公益財団法人 吹田市国際交流協会 (SIFA)

oooooooooooo ボランティア通信 oooooooooooooo
東日本大震災の災害翻訳に携わって
OFIX 登録通訳・翻訳員 彭 瓊林 (ボン チュンリン)

oo

【04】 お知らせ

- ◎ 「外国人のための防災ガイド」(地震編)をご活用ください!
- ◎ 外国人相談窓口設置ガイド「外国人相談について」を作成しました。

【05】 参加者募集

- ◆ 語学ボランティア研修参加者募集
- ◆ コミュニティ通訳研修
- ◆ 災害時通訳ボランティア研修
- 平成28年度大阪府海外短期建築・芸術研修生
招聘事業(安藤プログラム) 研修生募集
- JICA ボランティア募集

- ◇ 大阪府外国人情報コーナー
- ◇ 編集後記

【01】理事長就任挨拶

大阪府国際交流財団 理事長 小高 將根

4月1日の理事会で理事長に選任されました小高將根です。
当財団の円滑かつ効果的な運営に精一杯努力し、職責を全うする所存
ですので、よろしくお願いたします。

さて、大阪が世界の主要都市の一つとして一層発展していくためには、アジアはもとより世界の交流拠点としての機能をより一層高めていく必要があります。そのため当財団はグローバル人材の育成や外国人の受入促進・活動環境の整備といった分野で貢献してまいりました。今後もこの着実な歩みを進めていきたいと考えております。大阪を取り巻く内外の状況は大きく変化しております。そのようななか、変化に柔軟に対応した事業展開や法人運営のイノベーションに努めてまいります。皆様には改めてご理解、ご協力をお願い申し上げます。

【02】事業報告

《平成28年度OFIX事業の取り組み》

「大阪の国際化戦略アクションプログラム」との連携を図り、「OFIX 中期経営計画（平成27-29年度）」に基づき、「グローバル人材の育成」、「外国人の受入促進・活動環境の整備」、「国際交流情報の収集及び発信」に、引き続き、取り組んでまいります。

事業展開にあたっては、財団のもつノウハウ、ネットワークなどの資源を活用するとともに、市町村への支援等、広域的な展開などにも十分配慮し、積極的に事業を推進していきます。

また、災害時の対応を強化するため、大阪府や府内市町村、他府県の地域国際交流協会等との連携強化を図ります。

なお、大阪府国際化戦略実行委員会事業では、「おおさかグローバル塾」などを実施してまいります。

詳しくは、OFIX HP、大阪府国際化戦略実行委員会HPをご覧ください。
<http://www.ofix.or.jp/ofix/jigyuu.html>
<http://osakaglobal.jp/outline/index.shtml>

- 大阪府災害時多言語支援センター運営訓練
実施日：1月19日(火)10時-16時30分
参加者：40名

大規模災害時に、大阪府と共同設置する「大阪府災害時多言語支援センター」の運営訓練を大阪府国際課と実施しました。訓練では「情報班」と「多言語支援班」に分かれ、ファシリテーターの多文化共生マネージャー全国協議会事務局長の時氏にご指導いただきながら、職員、参加いただいた近畿ブロック(*)の方々及び災害ボランティアの皆さんで作業を分担し、災害時に在住外国人の方に役立つ情報の収集、選別、多言語化、発信等情報提供の流れを体験しました。

思い通りに作業が進まず、多くの課題を残しましたが、今後、よりスムーズなセンター運営を目指す「方向性」を確認することができました。

* 近畿地域国際化協会連絡協議会(近畿の8つの地域国際化協会で組織)

- 平成27年度相談会振り返り会議
実施日：1月27日(水)14時-16時
参加者：17名

平成27年度に外国人のための1日相談会を実施した団体、ご協力いただいた行政書士、税理士、ボランティアの方々、また実施検討中の団体の参加のもと、外国人住民がより利用しやすい相談会のあり方を考える会議を実施しました。

平成27年度の報告に続き、OFIX広報担当者による「外国人向け広報」の体系的な考察から効果的な広報手法の講義を行い、さらにFM COCOLO 編成部からゲストをお招きし、外国人住民への有効な情報発信ツール“ラジオ放送”について豊富なご経験を語っていただきました。最後の「相談会企画書作成」ワークショップでは、各グループからユニークで工夫を凝らした案が発表され、大きな刺激となりました。

- 第23回ワン・ワールド・フェスティバル
実施日：2月6日(土)・7日(日)

場 所：カンテレ扇町スクエア・北区民センター・扇町公園

今年で23回目を迎える西日本最大の国際協力・交流のお祭りワン・ワールド・フェスティバルが開催されました。NGO/NPO、国際機関、政府機関、教育機関、企業等169団体が出展し、活動紹介やめずらしい民族料理の模擬店、トークセッション、ダンス、映画上映等、63のプログラムが行われました。OFIXも実行委員会の一員としてフェスティバルの運営に参画しました。

2日間の来場者は24,000人にのぼり、延べ299人がボランティアとして参加しました。

■ 池田市国際交流センター(IMC)ボランティア研修会

実施日：3月24日(木)13時-16時15分
参加者：12名(池田市登録通訳ボランティア)

今回の研修は、今後のIMCでの多言語支援事業及び外国人相談事業で中心的に対応できる人材の育成を目的として、池田市在住外国人を取り巻く現状や、近隣国際交流協会の取り組み、外国人対応時の心構え等について学びました。

『外国人相談対応にあたっての心構え』については、OFIX相談員がワークショップ形式で講義を進めました。

外国人相談時の通訳等の経験が少ないボランティアの方からは「外国人相談を担当する際に気を付けるポイントがよくわかった」との声が聞かれました。

***** <地域国際交流協会等・OFIX共催 防災事業> *****

OFIXでは、災害発生時に、在住外国人や留学生の方が、自らの身を守り、日本人の方と同様に必要な情報を入手することができるよう市町村や地域の国際交流協会等とともに防災事業を実施しています。地域に根差した災害時外国人支援を推進し、さらなる大阪府内の地域力・防災力の向上を目指しています。

今回は、それぞれに異なる防災への取り組みを行った、3つの共催事業を紹介します。

各事業の詳細については、OFIXフェイスブックをご覧ください。
<https://www.facebook.com/osakafoundation>

■ 「外国人のための防災体験バスツアー」

泉大津市、泉大津国際交流協会
実施日：1月31日(日)13時-17時
場 所：大阪市立阿倍野防災センター

センターを訪問し、バーチャル地震、火災発生防止、煙中避難、初期消火、119番通報などを体験しました。

また車中では、泉大津市作成の『外国人のための防災ハンドブック』(日、英、中、韓・朝)も紹介されました。

■ 「大規模災害時における外国人支援セミナー」

豊中市、(公財)とよなか国際交流協会(ATOMS)
実施日：3月11日(金)14時-16時
場 所：とよなか国際交流センター

大規模災害時の市民、市民団体、関係機関、行政の連携のあり方や、それぞれに何ができるかを考えました。

この取り組みは、今後も豊中市、ATOMS、その他の関係機関と連携しながら継続される予定です。

■ 「外国人市民と地域社会住民のための防災訓練」

岸和田市国際親善協会
実施日：3月27日(日)10時-12時15分
場 所：岸和田市中央公園東・総合体育館前

初期消火、バケツリレー、応急救護、救助救出、119番通報の訓練等を体験しました。当日は来賓として岸和田市長がお越しになり、TV岸和田やラヂオきしわだの取材があるなど、大変活気づき、地域の関心の高さがうかがえました。

★ 外国人留学生対象有給インターンシップ成果報告会

実施日：2月27日(土)13時30分-16時
参加者：15名

大阪府国際化戦略実行委員会では、外国人留学生の就職支援事業の

一環として有給インターンシップを実施しており、企業での実習を終えた留学生による成果報告会を行いました。

留学生からは、企業での実習内容の報告のほか、「アルバイトとは違い、指示通りに仕事をこなすだけでなく責任感をもって仕事に取り組めた。」、「社員の皆さんの仕事に対する熱意に感心した。日本企業での働き方、文化がよく分かった。」などの感想がありました。留学生の皆さんには、今回の貴重な経験を日本企業で活躍するステップとしていただくことを期待しています。

★ JICAボランティア大阪府表敬訪問

JICA国際協力推進員 石田 さやか

実施日：3月18日(金)

大阪府出身の平成27年度4次隊青年海外協力隊3名及びシニア海外ボランティア3名が出発に際し、大阪府を表敬訪問しました。大阪府中井国際交流監やOFIX 堂本理事長から励ましの言葉をいただき、隊員らも2年間の活動への意気込みを語りました。今回派遣される隊員の派遣国及び職種は以下の通りです。皆さんのご活躍を期待しています！

【青年海外協力隊】

フィリピン(コミュニティ開発)、タイ(コンピュータ技術)、
ソロモン(建築)

【シニア海外ボランティア】

コロンビア(病院運営管理)、ベトナム(化学・応用化学)、
ボツワナ(柔道)

【03】災害時の多言語支援事業の現状

■ 自治体の災害時多言語支援事業について

特定非営利活動法人多文化共生マネージャー全国協議会
事務局長 時光

当協議会は日頃より全国各地から災害時多言語支援事業等に関する相談、依頼を受け、災害時多言語支援センター設置・運営訓練等の研修講師として各地の様々な事業に関らせていただいています。そのなかで、特に印象に残った平成27年度の災害時多言語支援事業についてご紹介したいと思います。

まずは長野県です。長野県は平成26年3月に「外国籍県民及び外国人旅行者を対象とした避難場所での生活環境整備に関するガイドライン」を作成し、災害時外国人県民への支援、避難場所での生活環境整備等に取り組んでいます。平成27年度、外国人キーパーソンを含め、災害時に活動できる人材を育成するために、市町村と連携し、茅野市、千曲市、長野市の3か所で災害時多言語支援センター設置・運営訓練を実施しました。情報収集、多言語での情報提供、外国人被災者のニーズの把握といった実践的な訓練を取り入れ、参加者が自ら考えて行動できるよう、内容を工夫しました。市町村独自ではなかなか開催できないこのような訓練を通じて、災害時多言語支援の必要性や課題等を地域にご理解いただき、今後の支援体制づくりに向けて一歩前進したのではないかと感じました。

もう一つは堺市です。平成27年度の災害時多言語支援研修は特に職員の人材育成にウエートをおきました。一方、一般の方が参加しやすいよう、開催日を日曜日に設定しましたが、堺市国際部から約20名の職員、また外国人住民を含めた11名の市民の方にご参加いただき、通訳ボランティア等と一緒に訓練しました。職員が災害時多言語支援の必要性、ノウハウを理解してこそ、いざという時に物事を動かせるということ、職員向けの訓練を通じて改めて認識していただいたように思います。

■ 都市間連携による災害時外国人支援事業への取り組み

公益財団法人 吹田市国際交流協会(SIFA)

西宮市・城陽市・吹田市の国際交流協会等は平成26年11月22日に連携事業として、災害時外国人サポーター養成研修『災害弱者をつくらないための地域防災連携訓練』を実施しました。これは、地域住民として災害時の外国人支援、またボランティアの役割と心構えについて学び、災害に強いまちづくりと大規模災害時の広域連携を目指すものです。

当日は西宮市での地震発生を想定し、多言語支援センターの開設や避難所巡回を体験しました。外国人市民が言葉の壁や文化・習慣の違いなどから孤立することを避け、被害を最小限に食い止めるためには、ボランティアとして日頃から防災知識と意識を高めておくことや、どのようなサポートが必要かを学び、参加者全員で共有しました。

内容：講義(ボランティアとしての心構え、教育等)、
ロールプレイ等

◆ 災害時通訳ボランティア研修

災害時に“情報弱者”となりうる在住外国人の方への多言語支援の
必要性が増し、災害時通訳・翻訳ボランティアの重要性も高まりをみ
せています。研修を受講し、災害ボランティアとして何ができるのか
を考えてみませんか？

日時：6月18日(土)

内容：講義(災害時ボランティア制度、活動紹介等)、
災害時通訳体験等

※上記募集詳細は、順次OFIX HP新着情報にアップしていきます。
<http://www.ofix.or.jp/index.html>

● 平成28年度大阪府海外短期建築・芸術研修生招聘事業
(安藤プログラム)研修生募集

アジア諸国の建築・芸術を専門とする35歳以下の若者を約1か月間
大阪に招聘する安藤プログラムの研修生を募集しています。
(5月16日締切)

詳細はOFIX HPをご覧ください。

<http://www.ofix.or.jp/training/aprogram/application.html>

● JICA ボランティア募集

◆ 応募資格

青年海外協力隊 20歳-39歳の日本国籍を有する者
シニア海外ボランティア 40歳-69歳の日本国籍を有する者

◆ 募集期間

4月1日(金)-5月9日(月) (消印有効)

関西各地で募集説明会開催

* 問い合わせ先 JICA関西国際センター 078-261-0352

【大阪府外国人情報コーナー】(OFIX内)

外国人のための無料相談窓口です。
(在留資格、労働、医療、福祉、生活などの相談)
相談時間 9時-17時30分(月曜から金曜)

休憩(12時15分-13時)

専用電話 06-6941-2297

相談言語 英語、韓国・朝鮮語、中国語、ポルトガル語
スペイン語、タイ語、フィリピン語、ベトナム語

E-mail jouhou-c@ofix.or.jp

編集後記

平成28年度を迎え、OFIXニュースを刷新しました。内容は、OFIXの
事業報告を中心に、その時期に即した特集テーマで国際交流事業等に
関する情報を掲載します。また「グローバル化」を意識したデザイン
を採用し、ビジュアルも新たに皆さまにお届けしていきます。さらに、
OFIXのよりホットな情報は、OFIXフェイスブックに掲載していますの
で、併せてご覧ください！

<https://www.facebook.com/osakafoundation>

● 次回OFIXニュース(第79号)は、7月発行です

★大阪府メールマガジン情報★ 『GEO(Global E-net Osaka)』
大阪で開催されるイベント・大阪の名所・大阪に関する豆知識等を
紹介するメールマガジンです！
⇒ <http://www.pref.osaka.jp/kokusai/geo/index.html>

★その他の募集・お知らせ★

※国際理解学習の授業(小中高)に国際交流員や留学生等を派遣します。

⇒ <http://www.ofix.or.jp/training/education/index.html>

※OFIXボランティアの登録制度のご紹介

⇒ <http://www.ofix.or.jp/accept/volunteer/system.html>

※OFIX賛助会員の募集及びご寄付のお願い。

⇒ <http://www.ofix.or.jp/ofix/support/index.html>

≫≫ OFIXニュースについてのご意見、ご感想はこちら
⇒ E-mail info@ofix.or.jp

≫≫ 配信中止、配信先変更はこちら

